

別記様式(第三条関係)

死産届

令和 年 月 日 届出

受付

年 月 日

令和 年 月 日

調査票作成

長殿

事件簿番号

死産第 号

父 母 の 婚 姻 直 前 の 本 籍 外国人のときは国籍 を書いてください。	父	母
	都 道 府 県 名	都 道 府 県 名
氏 名 生 年 月 日 死産があったときの 年齢	年 月 日 (満 歳)	年 月 日 (満 歳)
死産児の男女別及び 嫡出子か否かの別	☐ 男 ☐ 女 ☐ 不 詳	
	☐ 嫡 出 子 ☐ 嫡出でない子	
死産があったとき	令和 年 月 日 ☐ 午 前 ☐ 午 後 時 分	
死産があったところ	番 地 番 号	
死産があったときの 母の住所 住民登録をしている ところを書いてくだ さい。	番 地 番 号	
死産があったときの 世帯の主な仕事と父 母 の 職 業	☐ 1 農業だけまたは農業とその他の仕事を持つている世帯 ☐ 2 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 ☐ 3 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数 が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) ☐ 4 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々また は1年未満の契約の雇用者は5) ☐ 5 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 ☐ 6 仕事をしている者のいない世帯	
	(国勢調査の年… 年…の4月1日から翌年3月31日までに死産があったと きだけ書いてください。) 父の職業 母の職業	
この母の出産した子 の 数	出生子(出生後死亡した子を含む。) …………… 人 妊娠満22週以後の死産児(この死産児 を含む。) …………… 胎 妊娠満21週以前の死産児又は流産死胎 (この死産児を含む。) …………… 胎	
	☐ 父 ☐ 母 ☐ 同居者 ☐ 医師 ☐ 助産師 ☐ その他の立会者	
届 出 人	住 所 番 地 番 号	
	氏 名	

別記様式(第三条関係)

死産証書(死胎検案書)
この死産証書(死胎検案書)は、我が国の死産統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

死産児の男女別	1 男	母の氏名							
	2 女	妊 娠 週 数	満 週 日						
	3 不詳								
死産があったとき	令和 年 月 日 午前・午後 時 分								
死産児の体重及び身長	体 重	身 長							
	グラム	センチメートル							
胎児死亡の時期 (妊娠満22週以後の自然死産に限る)	1 分娩前 2 分娩中 3 不 明								
死産があったところ 及びその種別	死産があったところの種別	1 病 院 2 診療所 3 助産所 4 自 宅 5 その他							
	死産があったところ	番 地 番 号							
	死産があったところの種別1~3 施設の名 称								
単胎・多胎の別	1 単 胎 2 多 胎 (子中第 子) 3 不 詳								
死 産 の 自然人工別 ◆胎児を出生させる ことを目的として人 工的処置を加えたに もかかわらず死産し た場合は「自然死産」 とします	1 自然死産 2 母体保護法による人工死産 3 母体保護法によらない人工死産 4 不 明								
自然死産の原因若しくは理由又は人工死産の理由	自 然 死 産 の 場 合		人 工 死 産 の 場 合						
	I	胎児の側	母の側	母体保護法による場合	1	疾患名			
		直接原因又は理由				母体側の疾患による	理 由		
								ア	
								イ	
		ウ							
		エ							
	II	直接には死産に関係しないが、I欄の経過に影響を及ぼした傷病名等		母体保護法によらない場合	1	疾患名			
					2	理 由			
					その他				
胎児手術の有無	1 無 2 有	部位及び主要所見							
死胎解剖の有無	1 無 2 有	主要所見							
1 医 師	上記のとおり証明(検案)する 証明(検案)年月日 令和 年 月 日								
2 助産師	本証明書(検案書)発行年月日 令和 年 月 日 〔病院、診療所若しくは助産所の名称及び所在地又は医師若しくは助産師の住所(氏名)〕 番 地 番 号								

記入の注意
妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。
夜の12時は、「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

I 欄及びII 欄に関係した手術について。術式又はその診断名と関連のある所見等を中心に書いてください。